

エコロジーガーデン周辺「道の駅」整備計画（案）に関する提案・意見等の内容

No. 1

<意見>

この度、新庄市エコロジーガーデンに隣接する国道13号線沿いに道の駅構想が示されました。私たち、しんじょう産地直売所運営協議会は令和2年12月7日、新庄市に対し5項目からなる「エコロジーガーデンの整備に関する要望書」を提出し、同月17日新庄市より回答書をいただきました。その中には私たちが要望した5項目を含め国の補助金対象となる道の駅整備事業等で早期に整備していきたいとの記載があり、期待してその時期を待っておりました。

今回、その整備概要並びに実施スケジュールが示されましたが、円滑に事業が推進され、1日も早く完成することを望んでおります。

国道13号高規格道路が金山町まで延伸になることに伴い、既存の13号線の交通量は大幅に減少し、エコロジーガーデンへの来訪者も必然的に減少するのではないかと考える時、新庄市の大切な資源であり宝物でもあるエコロジーガーデンを交流とふれあいの場とし、活性化の原動力とするためにも「道の駅」構想をぜひ推進していただきたいと考えます。

私たちは地域内外の方々から今回整備される「道の駅」により多くの方々から立ち寄りいただくとともに、エコロジーガーデン内にある多種多様なイベントや機能を利用されることを願っております。

私たちは今回示された整備計画（案）に示された「道の駅」とエコロジーガーデン双方が持つ機能が有機的に結ばれその特性が一層発揮されることを願い、次の点に配慮いただき整備を進めてくださるようお願いいたします。

- 1 休憩、情報案内機能の中または屋外（プレハブでも可）にキッチンカーとは別に簡易な物販、飲食ブースを設置していただければ利便性の向上に役立つのではないかと。
- 2 道の駅駐車場と産直まゆの郷までの距離は100m程度あり、買い物をする場合、相当の距離です。特に、重量野菜や米などの重いものを持ち帰るのは大変です。また、高齢者、足腰の弱い方には相当の負担となります。駐車場から一旦市道に出てまゆの郷の駐車場に行くのは買い物意欲を低下させる要因となります。駐車場からまゆの郷まで直線的に進入できる通路（車も通行可能）を整備してください。

<市の考え方>

「道の駅」を設置するエコロジーガーデンは、平成25年に建物10棟が登録文化財として登録され、耐震改修とともに「カフェ」や「オフィス」としての活用もなされるようになり、新たに利用する市民や関係者が一段と増えております。産直まゆの郷は、まもなく開業20年を迎えますが、全体で年間延べ14万人の利用者が訪れるようになり、地域に愛され、地域外からも買い物に訪れる最上を代表する施設になりました。また、平成24年から活動しているイベント「キトキトマルシェ」は、1日2千人以上訪れるマルシェとして成長し、地域外からの来訪も多くなっております。このような中、施設をさらに充実させるため、要望されているのが駐車場やトイレの整備であり、国との一体型での「道の駅」整備をすることでエコロジーガーデンの施設機能の強化を図り、今後北側エリアの活用計画と併せて、更なる集客効果をもたらすものと考えております。

また、エコロジーガーデン隣接の「道の駅」は、国道を所管する国土交通省との一体型での整備について市が考えるスケジュールを示しながら協議を行っております。「道の駅」の整備に合わせ、車両と人の動線を分離し、既存施設へのアクセス性も考慮して、道路利用者にも既存施設の利用者にも、安心して利用しやすい施設となるよう計画したいと考えております。

今後も、整備内容の精査や整備区分の調整などについて協議を進めていくこととしておりますので、頂いた意見も参考に協議を進めてまいります。

No. 2

<意見>

先日まゆの郷の近くに整備される道の駅整備概要案を拝見しました。

私たちはエコロジーガーデンやまゆの郷がにぎわうことを期待します。

より多くのお客様からここに来ていただいて店がますます繁盛することを願っています。これから毎月キトキトマルシェやまゆの郷のイベントなどで国道13号線からの出入り混雑し大変危険な状態となります。また、敷地内の駐車場などが大変混雑し自由に使える空間が手狭になってきます。さらにトイレなども混雑し、お客様には大変不便をかけていますので、早く完成してほしいと思います。

整備の際は、道の駅からお客様が車でもスムーズにまゆの郷まで入ってこられるよう連絡通路の設置をお願いします。

<市の考え方>

基本的に駐車スペースが少なく、イベント開催時の混雑や、大型バスの乗り入れができないなど、車両通行にも支障を来していることから、駐車場の拡張や屋外トイレの整備が第一に必要であり、「道の駅」を整備することでこの課題解決とともに、さらに魅力を高め、利用者の利便性を高める空間となるように計画しております。道の駅制度を活用して駐車場とトイレ、情報発信施設を整備することで、既存の施設との調和を第一に施設配置を行ってまいります。このエリア全体が、エコロジーガーデンの雰囲気と一体的に活用できるよう整備を進めてまいりたいと考えております。

No. 3

<意見>

①以前エコロジーガーデンのトイレと駐車場の整備に関しては、議会の中でもやるという方向で決まっていたと記憶しています。

②エコロジーガーデンといえば私達世代がイメージするのは産直とキトキトマルシェです。特にキトキトマルシェは、子供達が楽しく遊んでいてとても好印象です。トイレと駐車場の整備はぜひやってもらいたいし、道の駅ならなおさら良と思います。

<市の考え方>

令和2年度の「道の駅」登録に向けた協議において、基本構想で選定された候補地について比較検討を行い、その結果として、第1段階ではエコロジーガーデンへの設置について調査検討を行うこと、第2段階で高規格道路の延伸に伴う誘客に向け8市町村で協議を重ねることとしてお示ししております。

現在、市が進めている「エコロジーガーデン周辺道の駅」については、不足していた駐車場や屋外トイレといった今までの課題について、国との一体型での「道の駅」整備をすることで機能強化を図り、既存施設の魅力と認知度の向上を図りたいと考えております。これは、全国的にも珍しい「登録有形文化財を活用した道の駅」として認識されるものと考えております。

No. 4

<意見>

高速が開通したら13号線の物流系交通量は減るだろうけれど交流交通量が大幅に減るとは思えないし、キャンプ、陶芸、果物狩、乗馬などの体験型道の駅、キッチンカー、ユニットハウスでの出店などのフレキシブル出店形体をとれば解決可能ではと思っている。

伸び代のある道の駅を計画して欲しいし、次世代の新庄最上の若い人たちが夢を叶えられる場所にして欲しいと思います。

<市の考え方>

エコロジーガーデンを道の駅にすることで、新たに整備をする施設については、既存施設との調和はもちろんのこと、休憩施設周辺でも集客イベントができるような構造にすることや、エコロジーガーデン全体に誘導する配置などについても検討してまいります。施設だけではなく、施設を利用したアクティビティな活動も推進し、交流人口・関係人口の拡大を図る考えです。

No. 5

<意見>

トイレ、駐車場利用をもっとしやすい場所に設置して欲しいとのことを、毎回来場者に言われます。推進よろしくお願い申し上げます。

<市の考え方>

「エコロジーガーデン周辺道の駅」は、国道を所管する国土交通省との一体型での整備について市が考えるスケジュールを示しながら協議を行っております。今後も、整備内容の精査や整備区分の調整などについて協議を進めていくこととなりますが、既存の地域連携施設を活用した「目的道の駅」として、本市固有のまちづくりの情報発信の拠点として整備を進めて行きたいと考えております。

「道の駅」の整備に合わせ、車両と人の動線を分離し、既存施設へのアクセス性も考慮して、安心して利用しやすい施設となるよう計画したいと考えております。

No. 6

<意見>

まずは、東北中央自動車道を始め、県内の高規格道路の整備が進む今のタイミングを逃さずに、ぜひスピーディーに計画を進めていってほしいと思います。

コンセプト・基本方針も大変共感の持てる内容ですが、可能であれば以下の視点ももっと打ち出せると良いのかなと思っております。

新庄市街地への入り口・ゲートウェイ

市内への誘導を促す情報発信にとどまらず、道の駅に車を止めて、そこから市内へ実際に誘導するようなサービス・仕組み（自転車や電動キックボードなどのマイクロモビリティや低速の自動運転車など）。

エコロジーガーデンと協調したエコ・サステイナブル

エコロジーガーデン自体もそうなのですが、その名前にあるように、もっとエコロジーやサステイナブルという色を押し出した方が良いと思います。例えばクリーンエネルギーの積極的な利用や発電設備の導入、施設全体としての「ごみゼロ」への取り組みなど。

オープンスペースの活用について

南側・北側エリア、ともに豊かな緑と独特の雰囲気が感じられる素敵な空間だと思います。このスペースの活用方法を、市民や道の駅利用者から提案できる仕組みがあるとありがたいです。例えば、エコロジーガーデンの歴史として、養蚕だけでなく農業試験場としての歴史もあるので、先進的な農業スタイルの市民農園のような場所を作れると、参加型でリピート率の高い場を作れると思います。

賑わいと静けさの両立について

道の駅やこのエリアの経済性を考えると、たくさんの人を呼び込んで、大いに賑わってもらいたいと思う一方で、エコロジーガーデンの魅力としては、静かでひっそりとしたノスタルジーという部分もあると思います。相反するかもしれないこの2つを上手く融合させた「道の駅」「エコロジーガーデン」を期待します。

<市の考え方>

「道の駅」の整備をすることで、情報発信機能を活用し、地域情報の拠点として市内の文化財や施設への回遊を促すなど、まちの魅力の発信を点から線でつなぐことで、交流人口の拡大に繋がっていきます。その移動手段については、観光に携わる関係の皆様や歴史まちづくり事業との連携などを検討してまいります。このほか、北側エリアの活用などについても、関係の皆様と検討してまいります。

より多く人を呼び込みたいといった考えと、静かでひっそりとした空間を楽しみたいといった想いと、双方あるかと思いますので、位置関係や施設内の活用については、エコロジーガーデン利用計画の課題として話し合いの中で検討してまいります。

No. 7

<意見>

エコロジーガーデン周辺道の駅整備は地域活性化に結び付くと思います。まゆの郷は市民の台所となっており、小農家の新鮮さを売り物に、需要と供給が伴っている場所である。

<市の考え方>

平成13年度に国からの譲与を受け誕生したエコロジーガーデンに、翌年、産直まゆの郷が開業しました。産直まゆの郷はまもなく開業20年を迎えますが、全体で年間延べ14万人以上の利用者が訪れるようになり、地域に愛され、地域外からも買い物に訪れる最上を代表する施設になりました。さらに、エコロジーガーデン全域を活用するイベント「キトキトマルシェ」は、平成24年に農林水産省が提唱したマルシェプロジェクトにいち早く参加してスタートし、今では1日2千人以上の来場者を数え、地域外からの出店者や来訪者も多くなっております。

このような中、国との一体型での「道の駅」整備をすることで、道路利用者の休憩施設といった目的とともに、相乗的にエコロジーガーデンの施設機能の強化が図られ、今以上の集客効果をもたらすものと考えております。

No. 8

<意見>

1.基本方針3,③について、新庄市に於いて防災拠点が增多することは重要であるが、「防災道の駅」を前提とした具体的な方針が表明されないのは何故であろうか。

2.基本方針3,③について、新庄市洪水ハザードマップの洪水浸水想定区域に指定される土地で災害時の対応施設としての役割が果たせるのでであろうか。

3.P5・6・18・19 充電施設、非常用電源設備及び冬期の雪堆積スペースを確保しつつ再生可能エネルギーの導入が図れるほど十分な面積が確保できるのでであろうか。また再生可能エネルギーの具体的な方向性が不明である。防災と省エネを前提とすれば専門的な知見が必要である。

4.P18(2) 省エネルギー、再生可能エネルギーは基本方針で明瞭に提示するべきである。

P22・財源計画では省エネ・再エネに係る補助金活用がない。国土交通省、経済産業省、環境省では自治体向けの補助金が例年あるため、本案は事業スケジュールと照会しても導入の意向はないものとみられる。

5. P22・財源計画では想定する金額の表記がない。竣工に関わるイニシャルコストだけでなく、運用に関するランニングコストも表記することが望ましいと考える。

<市の考え方>

今回お示した整備計画を基に、国との協議を進めてまいります。頂いた意見も参考に、より具体的な内容についてすり合わせを行っていくものです。

「災害時における施設の活用」部分については、まず、広い駐車場と24時間トイレの整備をすることで、国道13号と隣接していることから、最低限、災害時の一次的な活用が可能と考え

られています。「防災道の駅」への登録といったことは稼働後の検討となります。また、ハザードマップにおける浸水想定は、0.5m未満のエリアとなっていることから、それ以上の高さを維持した施設整備が必要と考えております。このようなことから、緊急的な避難場所としての利用や、物資や輸送車両などに対する中継点としての利用、自家発電装置や防災トイレなどの整備についても検討してまいります。再生可能エネルギーの活用については、今後の検討となりますが、太陽光パネルに設置などが考えられ、補助制度を活用する方向で導入を検討してまいります。財源計画については、各種補助メニューの活用について、国との協議の中で、今後詳細な内容を協議してまいります。

No. 9

<意見>

従来のキトキトマルシェなどの若者たちの活動は評価しますが、現況を活かしたトイレ・駐車場等の整備だけで、十分に活動を継続できると思います。

むしろ、ここを「道の駅」にすれば、折角の自然豊かな環境をかえって損ねてしまい、文化財の活用にもつながりません。文化財活用については、もっと地道な計画を立てて頂きたい。

運営についても十分考えながら進めて頂きたい。

<市の考え方>

国との一体型での「道の駅」整備を行うことで、駐車場とトイレ、情報発信施設を整備し、エコロジーガーデンの持つポテンシャルと、登録有形文化財とそれを保存・活用する取り組みが集客力になり、人と人との交流メニューが来訪者の心を引き寄せ活性化するものと考えております。ご意見いただきましたとおり、自然豊かな環境や建造物群の景観などに配慮し、駐車場や休憩施設の整備を進め、また運営や管理といった官民連携の部分についても十分な話し合いを行ってまいります。

No. 10

<意見>

イベントの際、エコロジーガーデン付近に駐車場やトイレが整備されていると利用しやすく、開催の計画もしやすいです。

<市の考え方>

12ページ「導入施設の規模算定」について、まず、駐車場については、これまでの利用実態を踏まえ、全体で200台の駐車マスを確保する計画としたうえで、国の整備分との算定を行っております。次に、トイレと休憩施設については、既存施設の利用も考慮しながら、道路利用者数を基にした算定基準から必要規模を割り出しております。ただし、ここで示した数値につきましては、国との協議の基礎とするためのものでありますので、具体的な数値については協議検討後に決定することとなります。

この整備計画は、新庄市が有する歴史や文化を地域の誇りとして継承し多くの方々の交流の場となるようエコロジーガーデンを活用した「道の駅」として整備するものであり、導入する機能の整備方針などを示すため策定するものです。国との一体型整備に向けた協議を進めながら、利便性を高めるため、施設利用者との連携も行ってまいります。

No. 11

<意見>

道の駅に山形のお酒などを置いてもらえたら、ありがたいです。変わったお菓子や、山形のお菓子をたくさん置いてもらえたらありがたいです。

高速が山形から秋田に通じた時に、寄れる場所が道路近くにあったらうれしいです。夜に来たくなる雰囲気（道の駅が営業していなくても）だったら嬉しいです。受け入れてくれる雰囲気の道の駅だったら、最高です。シャワー室とか欲しいです。

《市の考え方》

東北地方を縦断する高規格幹線道路とダブルネットワークを構成している一般国道13号に隣接し、高速道路との結節点である「新庄北IC（仮称）」と「昭和IC（仮称）」との中間に位置していることから南進車、北進車ともに立ち寄りやすい環境にあります。また、エコロジーガーデン北側のエリアを今後遊びや体験活動の場として検討されますので、その必要となる機能についても検討されます。頂いた意見も参考にさせていただきます。

No. 12

<意見>

エコロジーガーデン周辺「道の駅」を整備したとして、ランニングコストはいくらぐらいかかるのでしょうか？

計画の「道の駅」も赤字経営になるのではないのでしょうか。高規格道路がさらに延伸した場合、国道13号線を通る車の減少は目に見えています。よほど、商品や魅力のある何かがないと、高規格道路を降りて寄り道してまで「道の駅」に寄るとは思えません。

冬に駐車場の除雪を毎日するだけでもお金がかかります。建物の維持管理、人件費等で、赤字経営がずっと続き、それを厳しい市の財政で補うというのであれば、今でも足りていないところがあるのに、さらにお金を回せなくなるところが増えてくるのではないかと心配されます。市の整備計画や広報は、「道の駅」ができるこんな素晴らしいことがあるという内容です。課題となるであろうこと、心配されることを、私たち市民が知るにはどうしたらよいのでしょうか？

<市の考え方>

維持管理費について、現在整備する施設としては駐車場と屋外トイレ、情報発信施設であり、主に、警備、清掃、除排雪といった業務委託に係る費用を含め、約1千万円と想定しております。この中で、国が直轄整備する部分については国が費用負担をするといった内容となりますが、今後国との協議によって割合も決定して行くこととなります。

収入の見込みについてですが、エコロジーガーデンの施設運営による使用料収入は令和2年度で450万円となっております。しかしながら、エコロジーガーデンの施設使用料といったことばかりでなく、農業者等の所得向上や、市民活動の広がりなどに寄与した方策で進めてきておりますので、道の駅自体の収支比較といった視点ではなく、エコロジーガーデンの施設利用の拡大とともに、「道の駅」設置による市内全体への波及効果など相乗的な効果を生み出すことが重要であると考えております。

なお、お示しした整備計画（案）の中には、協議を進めて行くうえでの課題なども含め示しており、関係者との協議により具体化してまいります。

No. 13

<意見>

道の駅の売りは食べ物なので、どう展開するのか不明確。ここが売り物にならないと全てもうまく行かない。スペースから見ても、よその人気道の駅に遠く及ばない規模ではないのか。テナントを入れる場合は、市内の店舗からどれだけ出店可能なのか。他町村からの出店はどうか。

市内からのアクセスを良くするのであれば、北町から茶屋町、太田辺りまでの県道の拡張も必要と考えるが、そこは具体的にどう対処するのか。

新たに出来る高速道路のインターとのアクセスが悪そう。高速を下りて国道を通り、道の駅ま

でどれくらいの距離なのか。その間の13号線の交通量が増加すると市内の渋滞になる。帰りの高速に戻るための距離や移動しやすさも心配。

屋内のイベントスペースは最低限、照明、音響設備がないと使えない。

<市の考え方>

施設配置計画では、エコロジーガーデン周辺の立地特性として、高速道路との結節点である「新庄北IC（仮称）」と「昭和IC（仮称）」との中間に位置していることから南進車、北進車ともに立ち寄りやすい環境を記しております。また、新たに整備をする施設については、既存施設との調和はもちろんのこと、休憩施設周辺でも集客イベントができるような構造にすることや、エコロジーガーデン全体に誘導する配置などについても検討しており、施設の活用方法が広がるものと考えております。更に、道の駅を市内に点在する観光資源を回遊する拠点と位置づけ、バスやタクシー、その他の交通手段の案内などもあわせて検討してまいります。屋内のイベントスペースにつきましては、現在備えている設備の利用可能な範囲内で利用いただくこととなりますが、イベント内容によってご相談をお受けすることになります。

No. 14

<意見>

「インクルーシブ社会における道の駅の設備について」

最近のニュースでも紹介されていますが、日本サッカー協会（JFA）が競技場の中にセンサリールームを設置する活動が多くファンから絶賛されています。そこで道の駅にも同様のセンサリールーム（カムダウン・クールダウンを含む）を設置することを要望します。この施設は一般ドライバーの休憩としての活用だけにおわりません。地域の子育て支援の施設として、また障がい者支援施設として大きな意義があります。海外では空港や駅の構内にもどんどん設置数が増えていると聞きます。日本はこの分野が残念ながら数十年遅れていると言われております。

今なら、「日本初！センサリールームのあるやさしい道の駅」等のキャッチフレーズを獲得することが出来ると共に、新庄・最上地域の福祉施設として関係団体からも賛同を得ると思えます。エコロジーガーデンのやさしい風格のある建物の一角に一般ドライバー向け Room と地域福祉向け Room とあれば利用者に大変喜ばれるでしょう。

<市の考え方>

「日本初のセンサリールームのあるやさしい道の駅」といった提案をいただきありがとうございます。今計画は、エコロジーガーデンの持つポテンシャルを最大限活かし、なお相乗効果を生むよう、既存の施設を地域連携施設とした、国との一体型での「道の駅」整備をするものです。また、今後は、北側エリア約4ヘクタールを活用して、新たにアクティビティな魅力を高め、訪れたい空間となるように計画しております。国道13号から乗り入れる「道の駅」整備を行い、駐車場とトイレ、情報発信施設を整備することで新たな機能が加わり、エコロジーガーデンに備わる魅力、人と人との交流メニューが来訪者の心を引き寄せ、緑豊かな環境が安らぎを与えるなど、市民が誇りに思える「新庄の宝」となるよう整備を進めてまいりたいと考えております。

No. 15

<意見>

- ① 令和4年 月整備計画(案)P1の‘はじめに’に、高速交通網の整備を・・・と記されていますが、現状はインターからエコロジーガーデンまでL≒6kmの距離があります。休日等市街地南部に出かける時はこの区間を利用していますが、交通渋滞が原因でかなり時間を要するため、イライラする時があります。交通渋滞の要因は、信号機（交差点）が多い・片側一車線であること・この区間沿線に多くの店舗が存在すること等だと思っています。

今後の事です、もうすぐこの区間沿線に新庄最上の医療の中心となる素晴らしい病院が完成します。完成すれば今まで以上に交通量が増加するのは確実です。この状況の中、エコロジーガーデンの来訪者が増加すれば大渋滞が発生することは、誰もが予想できます。

これでは、いくら素晴らしい病院が完成しても、救急車による病人の迅速な搬送ができなくなり、助かる命も助からなくなるのでは？と心配しております。

整備計画(案)の基本方針1の③に・・・道路利用者の安全な交通に寄与し・・・と記述されていますが、R13号のL≒6kmの現状をどのように考えているのでしょうか？

- ② 整備計画(案)の基本方針2に、・・・また、子どもが安心して楽しく遊ぶことができるような・・・と記述されていますが、具体的にどの様なことを考えていますか？

私は、オールシーズン子ども達が安心して遊べることを念頭に置いて検討して頂きたいと思っています。

- ③ エコロジーガーデン周辺「道の駅」整備計画(案)の内容は、「道の駅」登録要件を満たす内容になっていると思います。

しかし、新庄最上全体の人口減少が急速に進んでいる。また、新庄の駅前通りや本町通り・周辺町村の商店街が疲弊している状況のなか、将来を見据え周辺町村全体を含めたかたちでの「道の駅」構想(例えば道の駅登録要件に加え、道の駅エリア内に農産物の販売ばかりではなく、多様な商店スペースの設置等)を推進することが必要だと考えています。

<市の考え方>

東北地方を縦断する高規格幹線道路とダブルネットワークを構成している一般国道13号に隣接し、高速道路との結節点である「新庄北IC(仮称)」と「昭和IC(仮称)」との間に位置していることから南進車、北進車ともに立ち寄りやすい環境にあり、目的をもって立ち寄っていただけると考えております。

2つ目については、今まで、イベント時には狭い駐車場に苦慮しており、駐車場から小さい子供を連れて往復するのは危ないというご意見も頂いております。このことから、駐車マスから施設までの往復に対し、車道と歩道との分離などについて整備に盛り込む計画としております。

3つ目について、新たに整備をする施設については、既存施設との調和はもちろんのこと、休憩施設周辺でも集客イベントができるような構造にすることや、エコロジーガーデン全体に誘導する配置などについても検討しており、多様な利活用が考えられるようイベントに参加しやすくしてまいります。

No. 16

<意見>

維持管理費 無人の駐車場に膨大な除雪費 24時間照明 常時トイレの掃除必要

トイレはエコロジーには遠すぎる

防災機能からの不適切性 水難地である

<市の考え方>

現在整備する施設としては、駐車場と屋外トイレ、情報発信施設であり、主に、警備、清掃、除排雪といった業務委託に係る費用として約1千万円と想定しております。この中で、国が直轄整備する部分については基本的に国が費用負担をするといった内容となりますが、今後国との協議によって割合も決定してくることになります。「道の駅」を整備するに当たり、車両と人の動線を分離し、既存施設へのアクセス性も考慮し、安心して利用しやすい施設となるよう計画したいと考えております。広い駐車場と24時間トイレの整備をすることで、国道13号と隣接していることから、最低限、災害時の一次的な活用が可能と考えられています。また、ハザードマップにおける浸水想定は、0.5m未満のエリアとなっていることから、それ以上の高さを維持した施設整備を考えてまいります。

No. 17

<意見>

トイレは利用しやすいエコロジーガーデン中核部にこそ浄化槽方式で造るべき。遠隔地に駐車場、トイレを造れば逆に客を失う。

<市の考え方>

エコロジーガーデンは、これまでも駐車場が狭く、大型バスの乗り入れが出来ないことや、イベント時には駐車場への渋滞が発生すること、また屋外トイレが不足していることなどの課題があり、施設機能の拡充が要望されてきました。国との一体型での「道の駅」整備を進めることで、エコロジーガーデンの持つポテンシャルと道の駅の設置効果で、相乗的な効果を発揮するものと考えております。また、これらの施設の拡充を望む利用者の方も多くいらっしゃいます。「道の駅」の整備に合わせ、車両と人の動線を分離し、既存施設へのアクセス性も考慮して、安心して利用しやすい施設となるよう計画したいと考えております。

No. 18

<意見>

整備計画(案)には、“交流人口や関係人口の拡大”や“災害時における施設の活用”についての記載がありました。

1. 高速道路（秋田・酒田方面）延伸で、エコロジーガーデン沿い、一般国道13号の交通量激減が予測されることから、現在以上の集客は厳しく、“整備の目的”にあった「交流人口や関係人口の拡大」につなげることは困難と考えます。
2. 新庄市ハザードマップでは、エコロジーガーデン周辺・駐車場予定地は、洪水があった場合、冠水地になる危険性があります。それでは、「災害時における施設の活用」はできないということになります。

<市の考え方>

ハザードマップにおける浸水想定は、0.5m未満のエリアとなっていることから、それ以上の高さを維持した整備が必要と考えております。広い駐車場と24時間トイレの整備をすることで、国道13号と隣接していることから、最低限、災害時の一次的な活用が可能と考えられています。このようなことから、緊急的な避難場所としての利用や、物資や輸送車両などに対する中継点としての利用、自家発電装置や防災トイレなどの整備についても検討してまいります。

エコロジーガーデンの施設については、以前より利用団体から駐車場・屋外トイレの整備に関する要望が出されておりましたが、国との一体型での「道の駅」整備を行うことで、既存施設の機能の強化による利用者の利便性の向上と、「道の駅」という新たな機能によってエコロジーガーデンの魅力の向上を図ることとしています。

エコロジーガーデンは、これまで3棟の旧蚕室の耐震改修を行い、産直まゆの郷のリニューアル、カフェやオフィス、交流施設などに加え、キトキトマルシェをはじめとするイベント等により、年間15万人を超える人が訪れる施設に生まれ変わりました。今後は北側エリアについて、四季を通じたアクティビティ（体験活動）を提供できるよう、今あるものを磨き上げ、機能を強化していくこととしています。

「道の駅」を整備し、その機能を活かした情報発信等で、目的をもって訪れていただく来訪者は確実に増加するものと考えております。全国で設置されている「道の駅」には、統計的な道路交通量に集客数が左右される「道の駅」もありますが、それに左右されず、行ってみたいくなる「道の駅」として集客を延ばしているところも数多くあります。

No. 19

<意見>

プランの中で最も気になるのは高速道路網とのアクセスの利便性を強調しているが、何らの根拠もなく検証もなく強調するのはおかしい。12月～3月の冬の降雪期に市民はある程度は利用するとおもうが、高速道路網を通過してきた観光客などがぐるり回遊して立ち寄るといった効果はほとんど見込めない。

<市の考え方>

国との一体型での「道の駅」整備をすることで、その整備に併せたエコロジーガーデンの魅力の向上を図ります。昨年度まで整備してまいりました登録有形文化財の保存活用に向けた改修により、これまで以上に施設利用の幅が広がり、多様な活動の場としてご利用いただけるようになりました。このことに併せ、道の駅整備による大型駐車場や屋外トイレの設置により、この施設全体の使いやすさは格段に向上されると考えております。

また、登録有形文化財を活用した道の駅は全国的にも珍しく、本市の歴史や文化を感じることが出来ます。今後展開される広大な北側エリアの整備活用も含め、この地域の自然の豊かさを体験できる場所になると考えております。行きかう商用車をどう取り込むかということではなく、これまでも多くの方に利用されてきたエコロジーガーデンの魅力を磨き上げて、多くの方に「行ってみたい。」と思ってもらえるかが重要であると考えております。交通量の大小にかかわらず、魅力的な施設を持つ道の駅は他県にもたくさん登録されています。このような「目的道の駅」として利用いただくことを大いに期待しております。

No. 20

<意見>

・市の計画は農家の皆さんが市民の台所として作ってきた“まゆの郷”施設経費に特化する周辺環境整備でありそのための財源づくりがねらいのように思えます。一般に考える道の駅構想とは異なり経済的に寄与することは少ないことを触れることは必要だと考えます。

・道の駅構想が市の計画で推進された場合でも、地域経済活性化への工夫の途、宿題が残ることを市は考慮していただきたいと思っています。

<市の考え方>

ご意見いただきましたとおり、整備計画をお示しした「エコロジーガーデン周辺の道の駅」については、本市固有の既存施設の機能強化によって魅力の向上を図る、全国的にも珍しい「登録有形文化財を活用した道の駅」として整備をする計画です。

「道の駅」を設置するエコロジーガーデンは、平成25年に10棟が登録文化財として登録され、耐震改修とともに「カフェ」や「オフィス」としての活用もなされるようになり、新たに利用する市民や関係者が一段と増えております。産直まゆの郷は、まもなく開業20年を迎えますが、全体で年間延べ14万人以上の利用者が訪れるようになり、地域に愛され、地域外からも買い物に訪れる最上を代表する施設になりました。また、平成24年から活動しているイベント「キトキトマルシェ」は、1日2千人以上訪れるマルシェとして成長し、地域外からの出店者や来訪者も多くなっております。このような中、施設をさらに充実させるため、要望されているのが駐車場やトイレの整備であり、今後、国との一体型での「道の駅」整備を行うことで、既存施設の機能強化が図られ、今後北側エリアの活用計画と併せて、更なる集客効果をもたらすものと考えております。魅力ある既存施設に立ち寄っていただく「目的道の駅」として、また、本市固有のまちづくりの情報発信拠点として整備を進めていきたいと考えております。

No. 21

<意見>

多機能トイレの導入はあるようですがイベント時に連携する建物の2Fへの利用は車イスで可能になるのか。エレベーターの設置はあるのか。今、現在でも飲食のフロアの利用は困難である。

<市の考え方>

地域連携施設となる既存施設は旧蚕室を改修したものであり、現在、エレベーターの設置は考えておりません。ご指摘頂きました旧蚕室のバリアフリー機能などについては、エコロジーガーデン利用計画の検討の中で、利用しやすい施設を目指した検討を行ってまいります。

No. 22

<意見>

・「考え方」の中の「目的道の駅」ですが、国土交通省は2020年～2025年は、第3ステージ「地方創生、観光を加速する拠点へ」を推進しているはずですが。市の考え方は2013年～、つまり10年前の考えであり、これからの時代にそぐわないと思います。この点について、どう対応していくのですか。

・市議の方も指摘していましたが、当該地は浸水の危険があるとハザードマップに示されています。災害時にあえて防災拠点と位置づけるのは適切でないと思います。何か対策をするのですか。

・市のこれまでの説明では「トイレと駐車場が足りないので、それを作るために道の駅という手法を用いる」と言っていた。今回の整備で、トイレ、駐車場、情報発信施設を作ったら、他の施設建設は行わないという認識でよいか。北側の交流拠点を作るとあるが、こういったものを作ることは、これまでの市の説明と矛盾してしまうがどうなのですか。

<市の考え方>

「道の駅制度は、道路利用者が安全で快適に道路を利用するための道路交通環境を用意するとともに、全国各々の自治体の特徴を引き出しながら地域のにぎわいを創出することを目的に進化してきました。今後更に、道の駅は、訪れる人と地域との接点であり、うるおいと安らぎを与えるとともに、地域の核として、個性的で魅力あるものとするのが望まれます。」と、道の駅第3ステージの取り組み方針が示されております。

行きかう商用車をどう取り込むかということではなく、これまでも多くの方に利用されてきたエコロジーガーデンの魅力を磨き上げて、多くの方に「行ってみたい。」と思ってもらえるかが重要であると考えております。交通量の大小にかかわらず、魅力的な施設を持つ道の駅は他県にもたくさん登録されています。このような「目的道の駅」として利用いただけるものと考えております。

また、ご指摘のとおり、ハザードマップにおける浸水想定は、0.5m未満のエリアとなっていることから、それ以上の高さを維持した整備が必要と考えております。

昨年度まで整備してまいりました登録有形文化財の保存活用に向けた改修により、これまで以上に施設利用の幅が広がり、多様な活動の場としてご利用いただけるようになりました。このことに併せ、広い駐車場や屋外トイレの設置により施設全体の使いやすさは格段に向上されると考えております。今後展開される北側エリアの整備活用も含め、この地域の自然の豊かさを体験できる場所になると考えております。

No. 23

<意見>

エコロジーガーデン付近を「道の駅」として整備する計画を知り、いくつかの疑問・懸念を持ちました。

・多くの車両を受け入れること（整備も含め）により、エコロジーガーデンの豊かな自然や景観

が損なわれることはないのか？また、夜は無人になるであろう広い駐車場が、防犯カメラ等の対策を行うとは言え、不良行為が行われるたまり場になったりしないか？

・防災拠点としては、地盤が低い地点では不適切ではないか？

<市の考え方>

新たに整備する休憩施設などについては、既存施設との調和はもちろんのこと、休憩施設周辺でも集客イベントができるような構造にすることや、エコロジーガーデン全体に誘導する配置などについても検討してまいります。管理手法についてもエコロジーガーデンと一体となった管理を考えております。夜の管理については他市町村の道の駅管理も同様であり、事例に沿った運営を考えてまいります。

エコロジーガーデンはこの地域を象徴するような素晴らしい環境と景観があり、これを活用したイベントなどが開かれ、その運営に中高生がボランティアとして参加するなど、世代を超え楽しみながら集うような人と人との交流が広がってきております。今後、エコロジーガーデンの機能が更に高まり、ここを拠点として地域を発信する手法の一つとしても、道の駅登録が有効であると考えております。

また、ご指摘のとおり、ハザードマップにおける浸水想定は、0.5m未満のエリアとなっていることから、それ以上の高さを維持した整備が必要と考えております。広い駐車場と24時間トイレが備わることで、震災などといった場合の一時的な避難等に対応した設備を想定しております。